

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 047	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 観賞樹新品種の育成と新樹種の特性調査	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】川崎横浜地区は県内の主要な植木産地であるが、他県産地に比較すると生産規模が小さく、同一樹種の大量生産ではなく、大消費地に近い特性を活かし、常に新たな需要が見込まれる新樹種・品種を導入することが、産地としての地位の維持につながる。 【内容】都市区域内の住環境に適応したコンパクトなサイズの花木の新品種の育成をお願いする。また、近年生産及び流通が増加しつつあるいわゆる新樹種の内、モチノキ‘黄金’、オオベニウツギ‘プルプレア’等のカラーリーフを中心に、埋め立て区域の植栽に適応する耐潮性、高層建築周辺の植栽に適応する耐陰性の特性調査をお願いする。 【対象地域】川崎市、横浜市全域	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 海岸線付近の植栽に適した有望樹種の検索、早咲き性のほうき性ハナモモの育成、枝垂れ性ヤボン新品種育成			
対応の内容等 ご要望いただいた内容のうち、新樹種の耐潮性につきましては、現在試験を実施しているところです。今後、新樹種を中心に試験をさらに進め、データを蓄積してご紹介します。耐陰性の試験につきましては、対象樹種や植栽条件を調査し、課題化を検討しますので、現地でのご協力をお願いいたします。 新品種の育成の実施に関しましては、植木の性質上年数を要します。現在、早咲き性のほうき性ハナモモと枝垂れ性ヤボンの育成に取り組んでいます。他樹種につきましては、特性調査や遺伝資源の収集を行いながら、生産や需要の動向をふまえ検討します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			